

社会福祉法人 檜の里

平成 30 年度  
事業報告書

【ミッション】

私たちは、自閉症を中心とした知的障がい者の

明るい未来を開くため、

総力を上げて支援を行います。

【ビジョン】

豊かな自然の中で、

社会に生きる障がい者の良きパートナー（隣人）として、

利用者とともに歩み続けます。

#### はじめに

年末に清水寺で恒例となっている一年を象徴する一文字は「災」であった。

夏の酷暑を皮切りに、度重なる台風の上陸、愛媛や広島などでの洪水と土砂災害、そして北海道地震とそれに伴う停電(ブラックアウト)など各地で生命や財産に甚大な被害をもたらした。

幸いなことに学園は、それらからの被害は免れたが、それはたまたまのことであり、次への保障には全く繋がらない。

学園は、東社協の知的発達障害部会「災害対策特別委員会」へ派遣している職員を、広島の被災施設の応援要請に応じて5日間派遣し、被災地での救援活動に直接参加することで、いかに日々の「気づき」と「備え＝点検」が大切であるかを学ぶ機会とした。

いすみ学園の30年度は、

年度当初に怪我などが連続したことも大きな問題であるが、何よりも31.3.16に山口寛さんが急逝されたことである。

山口寛さんは、いすみ学園開所時からの利用者であり、ここ数年で虚弱化が進み日々の医務対応や歩行困難となり車椅子の申請をしていた最中でもあり、まさに高齢虚弱化対策を進めている中心的な人でしたが、まさかこんなに早く…という驚きと寂しさの中で見送ることとなりました。心よりご冥福をお祈りいたします。

#### [人事]

- ・退職者は、女性支援員1名(31.3.31付)と、GH世話人補助1名(31.2.28付)の2名。
  - ・採用者は、男性支援員1名(31.2.1付)と、女性支援員1名(31.4.1付)の2名。
- まだGH世話人補助の補充はできていないが、31年度からは支援員1名増になる。

## 1 施設設備の整備状況

平成 30 年度の主な設備整備は次の通りである。

[固定資産の取得]

整備名①	「浴槽循環濾過装置」
	取得価格 <u>2.600.000 円</u>
	(内訳) 自己資金 2.600.000 円

整備名②	「乗用芝刈機・草刈り機」
	取得価格 <u>905.688 円</u>
	(内訳) 自己資金 185.688 円
	(内訳) 補助金 720.000 円

整備名③	「空調設備」
	取得価格 <u>8.520.000 円</u>
	(内訳) 自己資金 4.260.000 円
	(内訳) 補助金 4.260.000 円

## 2 事業の概要

### (1) 利用者の高齢・虚弱化対策。

#### ① 高齢検討委員会での検討。

高齢検討委員会で年内に方向性をまとめる予定であったが、検討課題も多く新棟の方向性をまとめることができたのは年度末近くとなった。

学園としては、過去の大規模・中規模修繕などで本館にエレベーター設置や段差解消、手摺などのバリアフリー化を行って高齢化対策を積み上げてきた経緯があり、高齢虚弱の人達が「安心」や「寛ぎ」ある生活をしていくには慣れ親しんだ環境の方が好ましく、新棟で新たな生活を作り上げていくには、比較的元気な利用者の方がリスクは低いなどの考えで、新棟には比較的元気な利用者の生活の場とすることを委員会で説明して協議の後に合意に至った。その後の理事会(31.3.22)でも報告。

これで新棟の方向性は定まったが、まだソフト・ハード両面での精査が必要で、31年度は広く学園全体で検討していくこととした。

又、介護浴槽の設置は、近郊の介護施設（外房・ゆかり岬・エスポアール・いすみ苑・愛恵苑…）での研修を重ね、導入する機器や浴室設備などについて提案し、新環境設計や創建長嶋設計に図面依頼することができた。

② 日中活動の見直し。

29年度1年をかけた検討結果を基に、30年度に作業班を大きく改編した。

改編ポイントは、29年度事業報告書にも記載しているので省くが、30年度1年間の活動状況から見えてきた課題も少なくなく、サービス点検委員会の役割として30年度の実績を検証して、32年度以降に向けた案を早期に職員会議で提案していくこととした。

③ 専門的知識と専門的技術の習得。

30年度は、専門資格を取得した新たな職員はいなかった。

作業班の大幅改編があり支援員に余裕が無かったこともある。

又、喀痰吸引研修も、これまでは千葉県主催であったが、民間委託し受講場所も限られ、人的余裕が無い中では長期間の研修参加は難しかった。

この喀痰吸引認定者の3名確保は、長期目標としている。

④ 介護施設との交流

30年度は、近郊の介護施設での研修はなかったが、「入浴プロジェクトチーム」が、前述の介護施設で介護浴槽の研修を行い、学園の提案に活かすことができた。

⑤ 行事の見直し

ますます増加している個別支援に配慮して、行事内容の凝縮化に努めてきた。

特に「槇の里祭」では、これまで以上に他施設・他団体に参加要請を行い、賑わいを維持することができた。今後、保護者の高齢化等も踏まえ、新たな発想を組み入れて進めていくことになる。

## (2) 権利擁護

① 県内入所施設で男性職員が女性利用者への「準強制わいせつ」で起訴される事件、別の施設では「私は〇〇です」と記載したカードを障がい者の首からぶら下げる人権侵害の報道があった。

なぜ、それらの施設では共に働いている職員は、その場で注意できなかったのか。小さな芽から職員同士でお互いに指摘していくことが虐待防止の基本である事は、袖ヶ浦事件から学んできたのにそれが活かされていない。

学園は、支援の「見える化」を柱として上下の区別なくお互いが指摘し合える職場環境を目指し続けている。この事は今後も変わらない。

② 福祉サービス第三者評価は、評価機関「(株)日本生活介護」で受審した。

利用者聞き取り、職員アンケート、経営層聴取などを行い、年明けに報告書ができた。

この報告書概要については、施設長が職員会議（31.1.26）で、理事長が保護者会（31.3.3）で報告して支援の振り返りの時とした。

[評価機関の講評]

- ・特に良いと思う点として、
  1. 利用者の高齢化を対応しながら今後の課題の検討を行い、可能なところから着実に実行している。
  2. マイサポート制度による支援は、利用者と離れている家族の負担軽減から成立したもので利用者にも楽しみになっている。
  3. 多様な日中活動や余暇活動が展開されており、利用者本来の力が発揮できるように支援している。
- ・更なる改善点が望まれるものとして、
  1. 家族の高齢化が進行しており、共に利用者を支える存在として施設の今後の支援の在り方についての議論の呼びかけに期待したい。
  2. 人事考課制度を職員に浸透させていくとともに、職場の風通しを良くする取り組みの継続が期待される。
  3. ケース記録に利用者の生活状況が十分に反映されていない面が見受けられ、職員間の情報共有もさらに充実したい。

この第三者評価で、更なる改善点と指摘された「人事考課」と「記録＝情報共有」については、31年度の職場内研修に持ち越して検証していく。

- ③ 8月に権利擁護委員会が「権利擁護について」を、6月と1月に主任会が「意思決定支援について」の職場内研修会を実施した。
- ④ 千葉県福祉協会「権利擁護委員会」にも職員を派遣して、情報共有に努めている他、県主催の「虐待防止・権利擁護指導者養成研修会」等の外部研修にも積極的に派遣してきた。
- ⑤ よろず相談会を実施。  
谷川氏と實方氏が担当し、隔月に開催してきた。  
相談会への参加は希望者で、固定化傾向にあるが毎回5～8名が参加して悩み相談をしてきた。利用者は相談日を楽しみにしている。

30年度 相談会実施日

4. 21	6. 9	8. 25	10. 27	12. 22	2. 16
-------	------	-------	--------	--------	-------

- ⑥ 権利擁護委員会の取り組み
  - ・福祉サービス第三者評価「利用者聞き取り調査」の援助。
  - ・選挙権行使の援助。
  - ・「職員自己チェック表」を他者チェックも加えて実施。
  - ・「にやりホット事例」は、30年度の提出枚数は98枚であった。  
今後の取り組みについては委員会内で検証が必要と思われる。

(3) 健康管理。

- ① 感染症対策

- ・インフルエンザが園内発生。

31.1.08	全国的にインフルエンザが流行している中で、職員1名が発症
31.1.12	タミフルを全員に予防投与開始 しかし発症者が続く。
31.1.21	発症者が10名を超え、健康福祉センター(保健所)へ報告。 以降、毎日状況を保健所に報告。 日々の検温やデスが食器、居室の移動…勤務職員の増員などを続けた。
31.2.07	最終発症者の静養解除後、1週間発症者が出なかったため健康福祉センターに連絡して「終息」となる。
[発症者の合計] 利用者19名・職員8名。(計27名)	

- ・31年3月、近郊の障がい者支援施設でノロウィルスが園内発症した。  
学園では、衛生管理の徹底を改めて医務から指示した。

## ② 主な健康管理

内容	実施日	対象者
健康診断(胸部XPを含む)	5.25	全利用者 夜勤従事者その他職員感染症など
〃	10.30	全利用者・全職員
前立腺がん検診	6.18	対象者
大腸がん検診	5.23~7.6	対象者(提出期間)
血中濃度測定	11.9	対象者
乳がん検診	7.31	対象者
歯科検診	31.4.4	全員(最首デンタル)
インフル予防接種	10.27	全利用者・職員
精神科(中原)		延べ人数 396名
〃(丸山)		延べ人数 36名
毎月第一土曜日に、全利用者の体重・血圧測定を実施。		
救急法・AED講習会(30.8.11)を、夏の一時帰宅日に夷隅消防署の協力で実施した。 これは毎年度実施で、支援員の習熟を維持している。		

### 中原診察日

4.24	5.28	6.25	7.30	8.28	9.25
10.29	11.26	12.25	1.28	2.25	3.25

## ③ 施設外診療

診療科目	延人数	備考
精神科	3	
内科	140	
外科	22	

整形	24	
婦人科	6	
皮膚科	43	
眼科	2	
泌尿器科	11	
耳鼻科	8	
歯科	34	
リハビリ	32	
〔合計〕	317	

④ 入院者（4名）

利用者（男女）	入院期間	入院先
M o ・ S o （女）	4. 02～4. 03	いすみ医療センター（サブイレウス）
T a ・ K a （男）	4. 18～4. 21	亀田病院（下肢骨折）
N a ・ J u （女）	9. 01～9. 11	いすみ医療センター（肺炎）
K a ・ N o （男）	31. 1. 18～1. 31	いすみ医療センター（肺炎）

⑤ 食事形態

	男性	女性	とろみ使用
常食	29名	12名	
一口大	3名	4名	2名
刻み	0	1名	1名
ごく刻み	2名	1名	3名
粥	2名	3名	

- ・刻み、ごく刻みの利用者は誤嚥予防の為。
- ・平成30年4月26日から野菜はボイルして提供している。

(4) リスクマネジメント

① 事故防止

学園は、「ハインリッヒの法則」に基づき、インシデントレポートの提出目標を330枚以上としている。

30年度のレポートの提出数は、前年度から微増しているが、まだ目標の半分以下であった。その中にはアクシデントレポートも数多く含まれている。

学園は「気付き＝発意」は職員の大切な責務の一つとして、職場内研修でも繰り返して取り上げてきたが未だ成果に繋がっていない。

特に、ベテラン職員が質のあるレポートを提出することが、若手の「発意」の育成に繋がっていくことをベテラン職員が自覚することを期待してきた。

30年度当初に事故が多発したが、いすみ学園の歴史の中でもなかったことであり、これらの一つでも「気づき」によって防ぐことはできなかったのが悔やまれるところである。

新棟建設後は、高齢虚弱者と比較的元気な人の生活空間が異なり(全てではないが)、利用者間の接触事故は減少すると思われるが、新棟が建設されるまでの今のこの間こそ「気づき＝発意」を意識していかなければならない。

- ・ 事故報告（行政機関へ報告件数は4件）。

4.03	T o ・ K a (女)	転倒 骨折
4.10	A ・ T o (男)	転倒
4.16	T a ・ K a (男)	骨折
4.26	O ・ N a (男)	縫合(右まぶた上)

## ②防犯・災害対策

東社協発達部会に29年度に新設された「災害対策特別委員会」に職員を派遣中。

目的は、災害時にいかに地域連携を進めていくか、そしていかに日々の「備え」を活かしていくかを学ぶことであり、31年度に職場内研修のテーマとして、全職員で共有する予定である。

## ③安全カメラの設置

導入に先立って、既に設置済みの近郊施設を訪問して参考にした。(30.5.15)

現在、棟内共有部分16箇所に安全カメラの設置を完了し、事故や怪我発生時の状況把握と再発防止策の検討に役立っている。

31.3.16の山口 寛さんの死去に伴い行われた警察の状況確認においても活用することができた。

## (5) 人材育成。

30年度も人材育成を目的に、以下の職場内研修を実施した。

繰り返しにはなるが、学園の職場内研修は、前年度末の職員会議で翌年度の職場内研修の年間予定表を配布して、担当者に自己研鑽の時間を設けている事が重要である。

担当者はそれを理解して準備することが望まれ、実施後の検証は研修担当の務めとしているが、これらについても継続が必要である。

### ① 30年度の研修実績

(職場内) 職員会議後に実施(1時間)

実施月	テーマ	担当職員
4	「発意＝気づき」	課長
5	「支援の標準化」	井上補佐
6	「意思決定支援」	主任会
7	「高齢・虚弱者支援」介護浴槽	高齢研
8	「権利擁護」	権利擁護委員会

9	「ハラスメント」研修	佐藤社労士
9	「ハラスメント」補講	主任会
10	「発意＝気づき」振り返り研修	課長
11	「会議の在り方」振り返り研修	井上補佐
1	「感染症対策」・「意思決定支援」	医務・主任会
2	「利用者の余暇支援」	余暇委員会
3	「地域生活者の支援」	地域生活委員会

(職場外) 目的的に派遣。

期間	参加	研修テーマ	開催地
〔定例会議〕	1	東社協「災害対策特別委員会」(1/月)	東京
〔定例会議〕	1	県協会「権利擁護委員会」	千葉
4.19	1	千葉栄養士会	千葉
6.5	2	県協会 地域支援部会研修会(グループホーム)	千葉
6.8	2	給食施設管理者・従事者研修かい	千葉
6.14	1	夷隅郡市栄養士会	千葉
6.16	1	「さをり織り」指導者養成研修会	千葉
7.6	2	ボランティア受け入れ研修会	東京
7.10	1	県協会 日中活動支援部会研修会	千葉
7.11	1	県協会 非常勤職員研修会(施設見学など)	千葉
7.12~13	1	関東地区職員研究大会	東京
7.26	3	県協会 千葉刑務所見学会(触法障がい者問題)	千葉
8.7~8.7	1	虐待防止・権利擁護指導者養成研修会	東京
8.9	1	労働災害防止・労務管理研修	千葉
8.17	1	食品表示研修会	千葉
8.27	2	県協会 権利擁護委員会研修会	千葉
9.11	1	福祉サービス苦情解決研修会	千葉
9.12	1	食中毒・感染症対策研修会	千葉
9.20	1	県社協 転倒・転落予防研修会	千葉
9.27	1	食品従事者研修会	千葉
10.3	3	きりともセミナー	千葉
10.4	1	虐待防止・権利擁護研修(マネージャー研修)	千葉
10.22~23	1	全自者協 全国大会「三重大会」	三重
10.28	1	福祉事業部 初任者研修会	東京
11.5	1	看護管理者研修会	千葉
11.12	1	労働基準法等の基礎研修会	東京
11.14~16	1	全国的障がい者関係職員全国研究大会 山口大会	山口
11.20	1	東京都災害福祉広域支援ネットワーク連携訓練	東京

11.20	1	支援スタッフ部会 代表者会議	千葉
11.21	1	県協会 地域支援部会研修会	千葉
11.24	10	夷隅地区3施設「合同研修会(ピア)」	千葉
11.30	1	人材確保に関する研修会	千葉
12.19	1	グループホーム等世話人研修会	千葉
1.22~23	1	県協会「施設長会議」	千葉
1.31	1	県協会 権利擁護研修会	千葉
2.1~2.2	1	災害対策特別委員会 被災地視察	宮城
2.3	1	地域支援セミナー	千葉
2.7	1	東社協 4団体共催研修会	東京
3.6	1	障がい者虐待防止・権利擁護研修	千葉
3.18	中止	長生夷隅地区福祉施設連絡協議会主催 地区研修	千葉

(若手・準職対象研修)

若手・準職の育成は中堅職員の役割であり、30年度も主任会で実施してきた。これら主任会による幅広いテーマ研修は、参加者から評価されている。

実施日	テーマ
5.10	障がい者権利条約 合理的配慮とは (対象者を一度に集められない場合は2回に分けてきた。)
5.24	同上②
7.5	発意・気づき研修
7.19	同上②
9.6	高齢虚弱者支援 感染症の知識
9.18	地域生活支援 防災研修
11.15	地域生活支援 地域と共存する施設とは
1.11	意思決定支援
3.29	就労・高齢者支援

② 人事考課「目標管理」

人事考課「目標管理」は人材育成のツールとして行っているが、職員の満足度は未だに低い。

設定目標は、被考課者の納得・同意が不可欠であるが、それがなされぬまま勝手に変更されてしまう…との声が少なくない。

サービス点検委員会が目標に全責任を持つと言う事は、それらも含めてのことである。

今回も福祉サービス第三者評価で改善事項として指摘されたが、サービス点検委員会が解決すべき最大の課題であると今年度も総括する。

考課者会議日	考課期間	考課者
10.24	4.1~9.30	社労士・施設長・副施設長・サービス点検委員4名
31.4.1	10.1~3.31	〃

③ 幹部、中堅職員の育成

学園にはベテラン職員が多く、各々が質の高い支援力を維持している。  
この事は法人としての大きな資産である。

学園職員の高齢化も課題であり、数年後には学園を担うことになる中堅職員が学園の将来について検討していくことは必要な事であり、31年度にも期待していく。

④ 特別研修

「ハラスメント」研修を実施。(8.30)

佐藤社労士による研修会で、勤務上などで参加できなかった職員は、主任会が同内容の研修を実施して、全職員が学習することができた。

(6) 人材確保

① 求人活動

31.2.1付で男性の新人職員を確保できたが、たまたま地元に戻る人を確保できたのであり、求人活動の成果としては、31年度採用の女性職員1名であった。

参加した面談会は7回。

主催団体	面談会(場所)
千葉県福祉人材センター	1回 (幕張メッセ)
いすみ地域人材確保協議会	3回 (勝浦キュステなど)
千葉県知的障がい者福祉協会	3回 (京成ホテル ミラマーレ)

その他の取り組みとして

・「いすみ地域人材確保協議会」として「いすみふるさとまつり」に出店して地域住民にアピール活動(11.3)。

さらに、同協議会がポータルサイトの開設し登録。

・日本福祉協会が有料ポータルサイトを開設し登録。

1名の応募があり、学園見学までしたが辞退。

・介護研修施設に登録して研修生・実習生を受け入れた。

・県内の保育・介護専門学校にも求人票を送付。

・全国の大学共通のポータルサイトに登録。

・ハローワークを通じた募集。

・就職ガイダンスに参加した。(植草学園短期大学、介護福祉専門学校)

② 若者への「種まき」

29年度に、地元の大原高校福祉科の生徒を対象に「いすみ学園見学会」を実施した。これは第一歩であり、30年度は、「いすみ市障がい福祉施設協議会(3施設)」の取り組みに拡大して「3施設合同見学会」を開催した。(6.23)

学校休日の実施で参加高校生は4名と少なかったが、それだけに興味のある生徒が

参加したと言える。

その後「槇の里祭」に生徒3名と教諭がボランティアとして参加してくれたことはその関心度の表れでもある。

今後、地元若者への「種まき」を充実させていく為には、「同協議会」の取り組みだけではなく、いすみ学園としてスピーディに動いていく必要性を強く感じた。

特に、教諭との意見交換や情報共有は必要で、学園からの発信が何よりである。

### ③ 介護福祉専門学校への働きかけ

30年度、介護福祉専門学校に交渉して「就職ガイダンス」に参加した。

卒業年度生20数名を前にいすみ学園を説明し、その後の個別相談会には多くの学生が話を聞きにきた。

しかし、彼等の多くは介護施設への就職を条件に奨学金を受けている者でもあり、この就職ガイダンスでは「時すでに遅し」とも感じた。

課題は、学生は「障がい者支援施設」を知らないことである。(知る機会が無かった)

職員はどんなことをしているのか、必要な資格はあるのか、疑問は多い。

まず「障がい者支援」を知ってもらう事であるが、これは「知らない」先方からの動きはあり得ないので、学園が発信をしていくことである。

例えば、槇の里祭で彼等の得意な「介護支援」的なブースを設けるなども、その日一日で多くを知る機会ともなる。

31年度は学校と相談して何がしかの動きを加えていきたい。

## 3 生活介護

[作業班編成] 前述しているが、30年度の作業班体制は、大きく変更した。

この1年間の検証は3頁③に記載している。

作業班	利用者	職員
1班 (室内)	東 俊朗・千葉忠弘・後藤龍司・上野拓也・細谷直行 森泉昌子・鬼原麗子・中村順子・鳥海香織・村田あけみ 土田理絵・佐藤富美・森恵里子 13名	鈴木典子・軽込進一 岩瀬佳代子・松本みゆき 會津みどり・三神颯人 渡邊美帆・川名純子
2班 (石鹸)	富沢勝巳・仲佐文宏・末吉清伸・高橋直樹・高松潤子 西村雅子・古屋明子・米丸由紀・西山純子 9名	三上慎一郎・吉田友希 是枝志津子・藤平浩美

		<u>大木崇司</u>
3班 (外作業)	若林謙二・谷島和彦・鈴木次郎・野口 諒・青木崇嘉 筒井 洋・大原直人・益田祐輔・黒田 肇・ <u>豊村健夫</u> <u>高梨貴弘</u> ・齋藤大作 12名	田辺清万・片岡彰則 佐久間雅也・長田圭司 末吉武司・仲佐 操 鈴木 晃
4班 (食品)	荒牧俊哉・西澤順二・木澤知之・池田美由紀・大竹康恵 清水美千代・辻村理恵・土肥 泉・ <u>高梨間子</u> ・ <u>津倉恵里</u> 福本真砂子 10名	長沼 毅・岩瀬祐三子 市東やす子・片岡恵美 池田恵里子・ <u>大屋真理子</u>
5班 (万木)	川端伸和・松本近司・岩崎 清・ <u>山口 寛</u> ・土淵祐子 前田文子・ <u>伊藤陽一郎</u> 7名	加茂正和・井上秀一 金城正直・高地優輔 竹内詠子・吉野晴美 君塚弘江
6班 (G実習)	丸山 陽・岩堀賢治・若月陽介・中野伸泰・丸浦 功 浅野正巳・金子 勇・ <u>式田和好</u> ・ <u>久保田江美</u> 石川隆明・重田隆行・永野 哲・大貫功博・常本智司 <u>笈川一夫</u> ・ <u>下田岩雄</u> 16名	横田武志・屋代精一 篠崎俊克・泰居容一

#### 特記事項、

- ・3班の高梨貴弘さんが、生活介護の契約解除。他施設に入所となる。(30.5.05)
- ・新人支援員(大木崇司)を31.2.1付で常勤採用して、2班に配属。
- ・万木工舎の山口 寛さんが31.3.16に死去。

#### ① 園内の売上

作業班の改編を行っているので、形式を変更。

分類	30年度(円)
手芸・石鹸・食品加工・電気組み立て・万木工舎	5,148,821
受託整備(万木城址環境整備・広域農道)・農作業	2,106,598
障害者優先調達推進法事業(いすみ警察署)・孫の手など	168,000
合計	7,423,419

作品展も含めて、売り上げが減少傾向なのは多くの法人にも共通している。

それは、購買者の減少も大きいですが、利用者の高齢化に伴い作業時間・内容の変更(縮小)などにもよるもので、学園でも「働く機会を保障する」の見直しの時期が遠くないことも表している。

#### ② 園内体験異動

作業班の改編があり、その新たな体制の定着を優先して中止した。

#### ④ 園外体験実習。

グループ実習班に参加し、利用者の新たな可能性を探る手段として設けた取り組みであるが、10.1からG実習は大原工場一つに改編されたこともあり、それ以降は中止とした。

期間	体験者	所属班	備考
4.23～5.8	Ni・Ju	石鹼班から	
5.21～6.20	Ti・Ta	室内班から	
6.21～7.20	Ki・To	加工班から	
7.17～7.20	O・Na	外作業から	
7.23～8.20	Ni・Ju	加工班から	
8.21～9.20	Ni・Ju	石鹼班から	

## 4 施設入所支援

### 1 余暇活動

#### ① クラブ活動

30年度から月2回の会議日をクラブ実施日とし内容の充実を図ってきた。  
その成果は、各クラブ共に見えてきている。

#### [クラブ編成表]

クラブ名	利用者	職員
ウォーキング	西山純子・中村順子・鳥海香織・西村雅子 高松潤子・古屋明子・森泉昌子・池田美由紀	岩瀬祐三子・市東やす子 會津みどり・鶴澤美帆
スイミング①	丸山 陽・東 俊朗・谷島和彦・丸浦 功 岩崎 清・重田隆行・後藤龍司・木澤知之	加茂正和・屋代精一 高地優輔・泰居容一
スイミング②	鈴木次郎・岩堀賢治・益田裕輔・青木崇嘉 上野拓也・若林譲二・浅野正巳・石川隆明	田辺清万・片岡彰則 佐久間雅也
自転車	千葉忠弘・細谷直行・黒田 肇・高橋直樹 永野 哲・中野伸泰・大原直人・ <u>下田岩雄</u>	横田 武志・長沼 毅 井上 秀一・末吉武司
茶 道	土肥 泉・辻村理恵・村田あけみ・福本真砂子 <u>津倉恵里</u>	片岡恵美・松本みゆき (斉藤)
陶 芸	筒井 洋・富沢勝己・若月陽介・松本近司 金子 勇・西澤 順二・ <u>常本智司</u>	篠崎俊克・軽込進一 長田圭司
卓 球	大貫功博・野口 諒・大竹康恵・米丸由紀 鬼原麗子・清水美千代・ <u>佐藤富美</u>	鈴木典子・吉田友希 三神颯人・是枝志津子
悠ゆう	荒牧俊哉・ <u>山口 寛</u> ・川端伸和・土淵祐子 前田文子	三上慎一郎・岩瀬佳代子 金城正直・竹内詠子

		吉野晴美
--	--	------

② 絵画教室

小滝先生と希望利用者（平均6～9名）が、美術館で絵画教室を楽しむことができた。

4. 22 (日)	5. 13 (日)	6. 22 (日)	7. 22 (日)	8. 26 (日)
9. 30 (日)	12. 16 (日)	2. 24 (日)	3. 24 (日)	

③ マイサポート

経費の見直しは、30年度は最低賃金の範囲内でありしていない。

	実施回数 (回)	利用者 (名)	備考
29年度	301	364	29.4.1～経費見直し
30年度	273	339	3月23日までの報告書集計

④ ボランティア (定期的な人)

ボランティアは「生活余暇委員会」が募集活動を行い、実績は下記の通り。

複数参加もあり総数は18名

国際武道大学学生	4. 14	4. 22	4. 28	10. 9	10. 25
	10. 27	11. 29	12. 6	12. 13	
城西国際大学生	4. 16	4. 23	9. 19		

槇の里祭には、31名のボランティア参加もあり、生活余暇委員会などの成果である。

⑤ 槇の里祭

10月20日(土)に実施。

天候不順であったが計画段階から小雨対応としてきた為に混乱はなかった。

恒例の国吉中学校の吹奏楽部は他行事と重なり欠席となり、代わって初参加で期待していた大多喜高校の吹奏楽部も天候不順で辞退され、少し寂しいオープニングではあった。

その後は、ガレージ周辺に集中した各模擬店を中心に、バザーなども含めて賑わいの中で開催することができた。

利用者の高齢化等により個別支援が必要な人も増え、職員は「…ながら支援」が増えているが、多くのボランティアの協力と他施設からの模擬店を多くするなどの工夫で利用者支援の時間を確保してきた。

今後も、計画段階から小雨決行できる配置と他施設の出店依頼などの配慮は必要。

⑥ 販売会

長生・夷隅地区福祉施設連絡協議会が主催する「生き生き展」と「生き生きフェア」、他施設行事（みずほ学園、青松学園、槇の木学園…）、地域主催行事（いすみふるさとまつり…）、その他、いすみ学園見学者への販売でアピールしてきた。

これらは地元の人に障がい者施設を知ってもらう機会として重要で、売上などの減少もあるが今後も参加していく。

- ・「ふるさと納税」返礼品に参加しており、30年度内には2件の注文があった。

⑦ その他

- ・ 山口寛氏の死去に伴う施設入所の補充は、短期入所で長期利用の伊藤陽一郎氏を候補者とした。(31.4.1から)

⑧ 資料

(1)園外行事

実施月日	行き先・内容	参加者
4.17	ふる里学舎八千代竣工式	職員 1
5.27	県協会主催「集団面接会」千葉京成ホテル	職員 2
6.1	ホテル観賞会	希望者
6.3	みずほ祭出店	職員 2
6.15	ボーナス外出(G実習班は別日)	利用者全員
6.23～24	生き生き展(作品販売)	職員 2×2日
6.30	野栄福祉会 創設 50 年記念会	職員 1
7.8	求人面接(幕張メッセ)	職員 2
7.12～13	班旅行(1班) 長野市	1班
7.19～20	班旅行(石巖) 山梨	石巖
8.30～31	班旅行(3班) 旭市	3班
9.04	千葉銀 ハートフル贈呈式	職員 1
9.13～14	班旅行(G実習 勝浦班) 埼玉	G実習勝浦班
9.15～16	生き生き展(作品販売)	職員 2×2日
9.18～19	班旅行(食品加工) 埼玉	加工班
9.29	植草学園就職ガイダンス	職員 1
9.30	いすみあかね園主催コンサート	GH希望者
10.11～12	班旅行(万木工舎) 銚子	万木工舎
10.11	// 日帰り組	利用者 3・職員 3
10.12	京葉介護福祉専門学校 就職ガイダンス参加	職員 1
10.25～26	班旅行(G実習) 青梅	G実習
11.3	いすみふるさと祭り	職員 2
11.3	夷隅人材確保協議会主催 就職説明会	職員 1
11.10	青松フェスタ	職員 2
11.11	つくも祭	職員 2
11.17～18	夷隅人材確保協議会主催 就職説明会	職員 2
11.17～18	生き生き展	職員 2×2日
11.22	介護施設「ゆかり岬」見学	職員 3
11.24	いすみ 3 施設合同研修会(ピア宮敷)	職員 9
12.5	いすみ農協 新米贈呈式	職員 1
12.14	ボーナス外出	全員

12.21	クリスマス忘年会（鴨川グランドホテル）	全員
2.7～2.10	生き生き展	職員 2×4
3.3	県福祉協会主催「集団面接会」千葉京成ホテル	職員 1
3.10	夷隅人材確保協議会主催 就職説明会（勝浦キュステ）	職員 2

## (2)園内行事

実施月日	名 称	内 容	参加者
4.7	避難訓練	新人が中心	全員
5.18	監事監査		
6.4	品川区民生委員来園(18名)	いすみ学園の見学	
6.23	大原高校より見学来園(4名)	人材育成を目的に	
6.26	第三者評価 利用者調査		全員
7.2	サマータイム実施		
7.14	夏祭り		全員
8.11	ケース会議・救急法講習		
8.30	ハラスメント研修会		
9.1	夜間招集訓練		全員
9.16	国吉祭礼	祭礼の迎え	全員
9.27	福祉サービス第三者評価	経営層聞き取り	
10.7	保護者作業日	学園祭準備	
10.20	槇の里祭	学園祭	全員
10.27	インフル予防接種	感染症対策	全員
11.19	山武みどり園より保護者来園	いすみ学園の見学	
12.28	ケース会議		
2.10	歌の祭典	(面会日は中止)	降雪の恐れ
2.20	東京都の現地指導		幹部職員
3.29	主任会主催「お楽しみ会」	年度末の締めとして	利用者全員
毎月、第一土曜日には血圧・体重測定。 最終土曜日（原則）の昼食時に「誕生会」を開催。			

## (3)一時帰宅

実施月日	学園生活者・職員の動きなど
5.3 ～ 5.7	万木城祭りなど
8.11 ～ 8.17	ケース会議、救急法講習、マイサポートなど活用。
11.19 ～ 11.22	マイサポートなど活用。
12.28 ～ 1.4	ケース会議、職員忘年会

## (4)面会状況

実施日	主な行事	備考
4.9	個別支援計画書等の説明	保護者会主催の懇親会

6.11	学園連絡会「夏祭りの説明会」	
7.15	夏祭り	体育館での開催
9.17	保護者会主催のお楽しみ会・国吉祭礼	
10.8	保護者作業	榎の里祭の準備
12.10	学園連絡会等	
2.11 (中止)	「たきの先生を囲む歌の祭典」 降雪の恐れがあり面会は中止とした。	
3.3	学園連絡会	新人職員・退職者紹介。

(5) 理事会・評議員会

理事会	5.25	9.8	11.6	11.28	31.3.22
評議員会	6.10	9.21	12.9	31.3.30	

## 5 グループホーム

29年度に「さくらの家」と「たんぼぼの家」に支援員補助の準職を採用し、30年度も世話人と利用者支援をする体制が維持できている。

この準職への研修体制も主任会主導で整える事ができた。

しかし、残念なことに「さくらの家」寮長補佐が退職（31.2.28付）し、30年度末でも補充できず学園からの応援体制を続けている。

又、不安事項の一つでもある「65歳問題」については特に動きは無かった。

(1) GHの利用状況（変化なし）

GH	利用者（男・女）	日中活動など
さくらの家	5名（男3・女2）	職場就労、生活介護（学園の生活介護）
たんぼぼの家	5名（男2・女3）	職場就労、生活介護（学園の生活介護）

特記、高齢化問題はGH利用者も同様で、就労意欲の減退などが見え始めてきた下田氏を新たに生活介護とした。G実習参加は継続しているが週末などは必要に応じて学園対応している。【生活介護】佐藤・森・高梨・下田の4名。

(2) ケア会議

寮長やGH支援員補助職員、GHサビ管、地域生活委員会の委員などが参加して利用者情報の共有と対策等を検討してきた。

4.24	5.22	6.29	7.24
8.31	10.30	11.30	12.25
1.29	2.27	3.29	

(3) 移動支援事業者による活動状況（2ヶ所のGHの計）

	利用回数（回）	総利用時間（時間）	週平均時間
29年度	77	267.5	5.1
30年度	77	277.5	5.3
増減	+ - 0	+10	週平均 5.3 時間を利用

(4) 防災訓練・地域清掃活動

避難場所の習熟訓練も兼ねてこれまで実施してきたが、30年度はGH支援員準職により数回実施した程度となった。

クラブ実施日が月2回となり、職員確保が厳しくなったことが主因である。

地域の人達への理解を深めていくためにも、31年度は復活に向けて検討する。

(5) その他

夷隅地区自立支援協議会への参加

開催日	会場	参加者
5.24	勝浦市役所	加茂（GHサビ管）
7.26	御宿町役場	加茂
9.27	大多喜病院	加茂
11.22	夷隅あかね園	加茂
3.1	大原文化センター	加茂
3.22	御宿町役場	加茂

6 短期入所・日中一時支援

(千葉県)

種別	利用者		延日数・時間	前年度
短期入所	1	K a ・ Y u	148 日	138 日
	2	T o ・ T a	102 日	28 日
	3	S u ・ K i	10 日	12 日
	4	Y o ・ M i	77 日	33 日
(計)	4 人		337 日	対比+126 日
種別	利用者		延日数・時間	前年度
日中一時支援	1	T o ・ T a	292.7 時間	670.5 時間
	2	N a ・ F u	103.3 時間	477.5 時間
	3	S u ・ K i	247.5 時間	60.5 時間
	4	T u ・ R i	276.0 時間	276.0 時間

(計)	4 人	919.5 時間	対比 - 868 時間
-----	-----	----------	-------------

(東京都)

種別	利用者 (さん)	日 数	備考
短期入所	S a ・ D a	348 日	継続中
短期入所	I ・ Y o	348 日	～31. 3. 31
(計)	2 人	696 日	

## 7 その他

### ① 実習生受け入れ

実習期間	性別・人数	学校・施設名など	
5. 29～ 5. 31	女 2 ・ 男 4	T B S	新人社員研修
6. 11～ 6. 21	女 1	千葉明德短期大学	保育実習
7. 09～ 7. 13	男 1	国際武道大学	介護体験
7. 16～ 7. 20	女 1	国際武道大学	介護体験
7. 23～ 7. 27	男 1	国際武道大学	介護体験
8. 20～ 8. 30	女 1	千葉明德短期大学	保育実習
31. 2. 5～ 2. 16	女 6	敬愛短期大学	保育実習
3. 7～ 3. 18	女 2	千葉明德短期大学	保育実習

### ② 「福祉サービス第三者評価」

30 年度は、「(株) 日本生活介護」で受審。

その結果については「福祉ナビ」で公開されている。

3 頁の (2) 権利擁護②に講評を記載。

### ③ 行政指導監査

監査日；平成 31 年 2 月 6 日

監査員；千葉県・いすみ市から監査員が来園。

結 果；「適正に行われている」と通知あり。

### ④ 東京都の現地確認 (数年ぶりに実施)

確認日；平成 31 年 2 月 20 日

確認者；東京都担当課員 (3 名)

結果；「適正である」と報告あり。

## 各作業班の顧客

### ・食品加工班

ごじゃ箱 (大原)	290-0004 いすみ市大原 9930	0470-63-1231
ごじゃ箱 (岬)	299-4615 いすみ市岬町井沢 1896-1	0470-87-8580
農産物直売所「まんてんの園」	298-0105 いすみ市能実 39	0470-86-3743
農産物直売所「なのはな」	298-0002 いすみ市日在 1158-1	0470-64-0502
道の駅 (ながら)	297-0233 長柄町六地藏 138-1	0475-35-4741
道の駅 (たけゆらの里)	298-0256 夷隅郡大多喜町本神 855	0470-82-5505
カインズマルシェ	297-0007 茂原市腰当 653-1	0475-20-1111
ヴィラそとぼう	299-4611 いすみ市岬町和泉 4427-1	0470-87-7111
ふれあい市場	298-0004 いすみ市大原 7638	0470-63-1360
菜の花カフェ (久米マサコ)	299-5202 勝浦市市野川 309	090-9232-5346
セルフショップぶなの森	596-0808 岸和田市三田町 1336	072-445-7168
りんごの木	581-0868 八尾市西山本町 4-15-2	0729-93-4330
パレットひびき	577-0843 西大阪市荒川 3-5-6 MMビル 10	06-6720-7774
風生庵		
レオック		

### ・外作業

ごじゃ箱 (大原)	290-0004 いすみ市大原 9930	0470-63-1231
ごじゃ箱 (岬)	299-4615 いすみ市岬町井沢 1896-1	0470-87-8580
農産物直売所「まんてんの園」	298-0105 いすみ市能実 39	0470-86-3743
農産物直売所「なのはな」	298-0002 いすみ市日在 1158-1	0470-64-0502
道の駅 (たけゆらの里)	298-0256 夷隅郡大多喜町本神 855	0470-82-5505
道の駅 (ながら)	297-0233 長柄町六地藏 138-1	0475-35-4741
レオック		

### ・石鯨班

ごじゃ箱 (大原)	290-0004 いすみ市大原 9930	0470-63-1231
ごじゃ箱 (岬)	299-4615 いすみ市岬町井沢 1896-1	0470-87-8580

農産物直売所「まんてんの園」	298-0105 いすみ市能実 39	0470-86-3743
農産物直売所「なのはな」	298-0002 いすみ市日在 1158-1	0470-64-0502
農産物直売所「はじめの一步」	299-4413 長生郡睦沢町上之郷 1952	0475-43-0877
農産物直売所「尼が台」	299-4345 長生郡長生村本郷 5366-1	0475-32-5237
道の駅 (ながら)	297-0233 長柄町六地藏 138-1	0475-35-4741
道の駅 (たけゆらの里)	298-0256 夷隅郡大多喜町本神 855	0470-82-5505
源氏商店	298-0124 いすみ市弥正 375	0470-86-2053
ヴィラそとぼう	299-4611 いすみ市岬町和泉 4427-1	0470-87-7111
土楽の里	299-4504 いすみ市岬町桑田 80	0470-87-6126
エビスヤ	299-4501 いすみ市岬町椎木 1846	0470-87-2709
石田ストア	299-4501 いすみ市岬町椎木 280	0470-87-2832
スーパーマルイ	298-0004 いすみ市大原 8661	0470-62-1718
カエム農園	298-0252 大多喜町三又 851	0470-84-0344
わくわく広場 大多喜店	298-0206 大多喜町横山 3033	0470-82-5370
わくわく広場 東郷店	297-0017 茂原市東郷 1618	0475-22-7320
四季の里	297-0075 茂原市押日 376-1	0475-46-3150
旬の里かねだ	299-4332 長生郡長生村金田 3026-1	0475-30-1147

平成30年度 評議員会開催状況

開催年月日	定数/出席者数	議案	欠席・書面出席者	監事・他出席者
平成30年6月10日	8/8	第1号議案 平成29年度事業報告(案)承認の件		五十嵐正一
		第2号議案 平成29年度決算報告(案)承認の件		今野康子
		監査報告		公認会計士 皆川明良
		第3号議案 社会福祉充実計画(案)承認の件		
平成30年9月21日	4/8	第1号議案 平成30年度民間社会福祉施設設備改善整備費補助金：いすみ学園中規模修繕について	丸山博、谷川陽子	五十嵐正一
		第2号議案 平成30年度第一次補正予算(案)承認の件	渡辺敬男、實方悦子、今野康子	
平成30年12月9日	6/8	第1号議案 補正予算(案)承認の件	谷島慶彦 田邊司郎 五十嵐正一	今野康子
		第2号議案 いすみ学園機械浴室新築工事入札業者選定(案)承認の件		
平成31年3月30日	7/8	第1号議案 平成30年度補正予算(案)承認の件	丸山 博	五十嵐正一
		第2号議案 平成31年度事業報告書(案)承認の件		今野康子
		第3号議案 平成31年度収支予算(案)承認の件		渡邊洋子

平成30年度 理事会開催状況

開催年月日	定数/出席者数	議案	欠席・書面出席者	監事・他出席者
平成30年6月25日	6/7	第1号議案 平成29年度事業報告(案)について	土肥 豊	五十嵐正一
		第2号議案 平成29年度決算報告(案)について		今野康子
		監査報告		公認会計士 皆川明良
		第3号議案 社会福祉充実計画(案)について		
		第4号議案 平成30年度第1回評議員会開催の議案について		
平成30年9月8日	7/7	第1号議案 平成30年度民間社会福祉施設設備改善整備費補助金：いすみ学園中規模修繕について		五十嵐正一
		第2号議案 永年勤続祝金規程(案)承認の件		今野康子
		第3号議案 平成30年度第一次補正予算(案)承認の件		公認会計士 皆川明良
平成30年11月6日	5/7	第1号議案 社会福祉法人横の里いすみ学園中規模修繕：入札結果について	土肥 豊	五十嵐正一
			丸浦岩夫 今野康子	
平成30年11月28日	6/7	第1号議案 補正予算(案)承認の件	土肥 豊	五十嵐正一
		第2号議案 いすみ学園機械浴室新築工事入札業者選定(案)承認の件		今野康子
		第3号議案 経理規程(案)承認の件		
平成31年3月22日	6/7	第1号議案 平成30年度補正予算(案)承認の件	土肥 豊	五十嵐正一
		第2号議案 平成31年度事業計画書(案)承認の件		今野康子
		第3号議案 平成31年度収支予算(案)承認の件		皆川明良
		第4号議案 常勤職員・準職員嘱託職員就業規則(案)承認の件		
		第5号議案 個人情報保護規程(案)改正の件		
		第6号議案 評議員会への提出議案(案)承認の件		